

第5回中井町地域公共交通会議 議事録

日時：平成25年3月29日（金）午前10時00分～

場所：中井町役場 3階 3A会議室

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
(1) 中井町オンデマンドバス実証実験及び利用登録者アンケート調査結果について（資料1）
- 4 協議事項
(1) 中井町地域公共交通総合連携計画（案）の策定について（資料1）
(2) 中井町生活交通ネットワーク計画（案）の策定について（資料2）
- 5 その他
- 6 閉 会

【報告事項の議事概要】

- (1) 中井町オンデマンドバス実証実験及び利用登録者アンケート調査結果について（資料1）

事務局より資料1の6の説明

委 員：1つ目に、P. 43の⑥乗降ポイントの中で、「松本上GS3-4」の利用が多いという事で、利用者説明会を開いたとのことですが、その具体的な内容と、他の地域での説明会の実施について教えてください。

2つ目に、P. 45のOD調査についてですが、秦野市や比奈窪周辺、二宮町への利用が多いようですが、時間帯別にはわかりますか。

3つ目に、利用の目的はわかりますか。

事務局：1つ目の松本上地区では、地元の要望がありましたので、10数名で説明会を実施させて頂き、住民の方のわからない所などご質問頂き、対応させて頂きました。このような事を地域からご要望があれば、私共が出向きご説明させて頂きたいと思っております。広報等でアナウンスしており、他にも井ノ口の葛川地区でも自治会の方から要請があり、そちらでもご説明させて頂いています。あとは、民生委員の会議や老人クラブの集まりの機会を通じて、こういう公共交通のサービスがあるというご案内をさせて頂いています。

2つ目のP. 45のODについては、秦野市や二宮町への動きが多く見られますが、今回のご報告では、時間帯とリンクさせたものは、この中では明記させて頂いていませんので、その集計は、ご指摘を踏まえてご報告させて頂きたいと思えます。

3つ目の利用目的は、今回の資料ではわかりかねますが、基本的には買い物、通院が多いと、日々の予約状況を通して見受けられる気がします。それから今までバス路線が無かった老人介護ステーションのような所へのお見舞いでの利用も多いように見受けられます。

委 員：地域に入ってい頂き、住民の方と顔を合わせて説明すると、松本上の様に利用が増える気がしますので、乗降者数を増やすために、地域に入ってい頂き、増える努力をして頂きたいと思えます。

会 長：審議事項は、連携計画（案）とネットワーク計画（案）で、オンデマンドバスについて具

体的にどうしようや、使い勝手が悪いので、こうしたいなどは、協議事項であり出てこないという理解でよろしいですか。

事務局：連携計画（案）の中で、4 協議事項について資料1を使って、実証実験の結果や今後導入を進めていくべき方策について、述べさせて頂きたいと思っております。

会長：事業者から、町からでも感触の様なものを頂きたいと思えます。

委員：「井ノ口」ということで、利用者と人口を出していますが、大まかに井ノ口と言っていますが、もう少し細かい地区ではわからないのですか。

事務局：本当は、自治体ごとに利用率、登録率を出したかったのですが、このアンケートの回収が3月上旬までかかっており、自治体ごとに集計する作業が、間に合わなかったため、井ノ口という住所番地で集計しております。今度は井ノ口の中でも地域の分布があると思えますので、詳しく見ていかなければいけないと思っております。

委員：井ノ口は必要性があると言われている所もあるので、これではわからないと思えます。

事務局：井ノ口の番地毎でわかれば良いと思うのですが、登録者について整理しております。地域によっては登録率が少ないかなという所については、自治会長さんを通して、地域の説明会など開いていこうと思っております。出来るだけPRする機会を設定していきたいと思えます。

委員：予約について、予約の電話を入れたが利用出来なかったという割合はどのくらいですか。

事務局：電話で問い合わせを受けており、使い方がわからず、説明しながら予約を受けることはあります。お話ししている間で利用者の要望を聞くことは出来ますが、利用者の希望に合わなくて、予約が成立しないことはありました。具体的な数値はわかりません。

会長：オペレーターさんが受けている場合は、「何時にしましょう」等変更した件数を把握することが出来るのでしょうか、インターネットでの予約が多い様で、予約を取り消したり、選択肢の中から予約を入れている場合、それが第一希望なのか、第二希望なのかは解らないということですね。

事務局：そうです。

会長：予約したけど使えないなどは、直接利用者に聞いていかないといけないことなのでしょう。

事務局：電話のオペレーターに関しては、何時何分この予約、希望の時間帯、予約成立有無のメモを取っております。ただ、今回は掲示していません。

委員：私も中井町の交通の不便な所に住んでおまして、今回4回使いました。先ほど松本上地区の利用が多いという事で、アンケート調査の結果で出ているようですが、1人の人が車が故障していたから使っていて、たまたまその利用数が多いような状況です。もう少し、アンケート調査も大事ですが、具体的なものを詰めていかないと結果どのようなものになるのかが、なかなか出てこないと思えます。結果から現れている様に、二宮駅、秦野駅への要望が多いですが、それぞれ皆さんが場所ごとに行き先が散らばっているため、1台のバスで乗り合わないため、実証実験では、10.6人/日であり、その辺の予約制度も少し問題があるのかと思えます。まだまだ改善する所が多いと思えます。

会長：アンケートはアンケートでこうですが、それを踏まえてこうすればいいという所は、これだけでは出てこなそうということですね。直接言って、こういう利用をしているという声を聞いて、他の人にも広めていくような所が本丸なのかと思えます。

委員：結構路線が複雑で、かなり練習もしました。この結果からすると結構利用も少なかったで

す。乗務員の意見としては、一回使った方は、次に繋がるようですが、まだ、このバスが走っていると見慣れないワゴンが入ってきた。という感覚で見られることもあるとの事でした。井ノ口方面、の路線バスが走っている所の方は、二宮駅にも秦野駅にも行くことが出来るので、利用が少ないのだと思います。アンケートの結果では、駅への要望は多い様なので、その辺は見直しも必要でしょうし、路線バスのあり方も含めて、中井町の公共交通という形で、名称も決めてここまで進めてきたものですし、存続してもらいたいと思います。大型のバスを全部の地域に走らせることは不可能ですので、路線バスとオンデマンドバスの位置付けはきちんと協議しながら、町民の方が公共交通を使えるようになれば良いかと思います。

委員：今はバスが2台で運行していますが、バスの稼働時間と待機時間はわかりますか。

事務局：稼働時間は、7時から20時ですが、利用が少ない時間帯では、1台で運行しております。フル稼働ではございません。1月から2月まで、運転手の休憩時間など労働環境を加味した中で、時間も検討して頂き、実行したのが現実です。多少、利用時間帯は、一部改善して頂くようになりました。稼働時間もよくなると思います。稼働時間の分析など、細かくやってみたいと思っております。

委員：待機時間が長いという事ですよね。今後利用者が増えてくると稼働率も上がると思います。また、利用率も増やしていかなければいけないと思います。そうすると中井町の交通に関する利便性も上がっていくと思います。どうしたら上げられるのかということだと思いますが、アンケートの結果では、秦野駅、二宮駅の要望が多いです。既存のバス路線の時間帯を縫って、そのあたりに行けるようになることは、重要なのかと思います。このあたりを改善の方向として考えて頂けると良いと思います。私の近所に高校生がいますが、その子は秦野へ出て伊勢原の方へ行っていますが、「オンデマンドバスをここから乗れること知っていた？」と聞いたら「知らない」と言いましたので、その辺の周知徹底などなかなか出来ていないのかと思いましたが、説明会等で補って頂きたいと思います。もうひとつ、料金は、鴨沢から比奈窪で200円、比奈窪から秦野まで300円、通しで500円になります。その値段は、その子にしてみると高いようです。鴨沢から路線バスで行くと380円ですので、料金も乗り継いでいくと割高になることもあるようです。

会長：需要は分散しているようですが、同時に2人、3人乗ることは結構あるのでしょうか。

事務局：予約の兼ね合いもあるのですが、12人乗れるので、7、8人が乗り合って行ける形態が理想なのですが、現状は、1人で1台を利用して行ってしまう例が多いので、その辺を上手くシステムを加味しながら、複数乗車を増やしていく方法を検討していきたいという内容、次のステップを後程述べさせて頂きたいと思います。それらが、効率性を考えると一番課題であると認識しております。

委員：土日の利用が極端に低いです。乗務員の方からも、リピーターで乗ってくださる高齢者も土日は息子さんが会社が休みだと送り迎えをしてもらったりしているようです。通学も学校が休みです。土日の観光などついて来れば、違うのかもしれませんが、地域の住民を考えると土日運行のサービスまではいらぬのかなとも思います。

委員：土日は電話予約が、当日ではなく事前におかないといけないのですよね。

事務局：土日はオペレーターが休みなので、電話予約は出来ませんが、インターネットでは出来ます。土日の利用が少ないという分析も神奈中さんとさせて頂いており、土日の代替手段と

して、平日を充実させることも1つの方法として、事業者さんとも協議をさせて頂いています。いずれにしても4月からそういう形でというのも難しいものがあり、運行計画を変更するにも手続きが必要ですので、半年以降くらいから課題整理で運行が移行出来れば、変更に向けてステップアップ出来ればと思っております。

【協議事項の議事概要】

(1) 中井町地域公共交通総合連携計画（案）の策定について（資料1）

事務局より資料1の序、4、6、7の説明

委員：P. 55④運行サービスの改善・見直しで、「周辺市町と連携しつつ…」とありますが、具体的に周辺市町はどこら辺を考えているのですか。

事務局：アンケート等を踏まえまして、町民の移動は秦野市、二宮町への移動が多いという風に考えておりますので、秦野・中井・二宮の縦のラインをまずは強化したいと考えております。他にも松田町や大磯町方面の需要もありますが、全てをオンデマンドバスで支えるのも難しいと思いますので、まずは縦のライン、あるいは中村地区は小田原市にも隣接していますので、同じ問題を抱えた所で連携していくことも1つの方策ではないかと考えています。

委員：中井町から町外へ流出する方向と、町外から中井町へ流入する方向もあると思います。そこら辺を考えると小田原市も多いので、町内だけを対象に町外への方向のベクトルでオンデマンドバスを考えていくのか、逆に内向きのベクトルも考えていくのかどうなのでしょう。

事務局：P. 4に公共交通に関する現況として通勤・通学動向も出しており、このようなデータも踏まえて考えていきたいと思えます。外から内へという事で、今回登録についても町内だけでなく、町内も推奨しておりますので、外から町へ来る方の利便性も高めて、それらが効果があるものなのかという課題も有りますが、外へ行くだけが脳ではないと認識しております。

委員：既存のバス路線との調整など難しいと思えますが、その辺をクリアしていかないと公共交通の利便性の全体を考えた場合、なかなか向上しないと思えます。大きな太いラインで整理していけば、方向性も見えてくると思えます。

事務局：昼夜間人口について、昼間の人口の率は箱根に次いで県内でも2番目に多い率になっておりますので、町の特性は十分認識しなければいけないと思えます。

委員：中井町は、鉄道は通っていませんが、交通の要所のような所があると思えます。交通の要所的なシステムを考えると面白いかと思っております。行田は何もないですが、交通の要所になっているので発展していますので、そういった方向性もあるのかと思えます。

委員：P. 65に「地元企業」という言葉がありますが、地元企業へのPR等は行っているのですか。土日の利用が少ないとありましたが、土日は企業のバスは運行していませんので、その方達に使って頂ければ土日の問題の解決につながるのではないかと思います。

事務局：地元企業へは、グリーンテクなかいの中の企業に対しては、オンデマンドバスのPRをさせて頂いています。ポスター、パンフレットを送ってこういうものが導入されました。ということで、町民だけでなく、そこに働く方も利用して頂くきっかけがあれば、利用して頂きたいと思いアピールさせて頂いています。企業さんの方から、個別にご要望があれば、説明させて頂きたいと思っております。町内からグリーンテクに行く方の利用はある

ようですが、町外からの利用は少ないようです。

会長：P. 55に評価・検討とあるのですが、P. 55 意向で、じゃあどうするのという処方箋が見えません。問題はわかるのですが、こういう方向でやっていくという物でしたら、これでいいと思いますが、本当にあと5年実験でどうするのかという部分は、会長としてまずいのではないかと考えております。例えば、乗り合わせをすることをしたい。とある時に、どういう方策があるのかももう少し検討しなければいけないと思います。せっかく1ヶ月お休みをしているので、数か月後にはもう少しこういう風にすべきだというのが、出てほしいと思います。10 何人を40 何人にしたいと書いてあるだけで、そもそも40 何人という数も妥当なのかという所があると思います。これは目標でなくて、これくらい乗ってくれるだろうとっている数にすぎないです。具体的にこういう方法があるのではないかとこの考えは、次回はお示しして頂きたいと思います。

事務局：次年度も3回ほど実施したいと考えております。会議の中で、こうしたい。それにはこういう手続きが必要。ということを示して、PRや改善事項についても具体的には、何をどこで、どのようにやっていくのかという実施計画の細かい物を整理させて頂きたいと思いません。

委員：町としてもオンデマンドバスの実証運行を始めましたが、この他に福祉有償サービスがあり、これも登録者148人の9割程度の方が使っています。これは、必要以上の障がいを持っている方に限らず、町で補助して社会福祉協議会で運行しています。さらに、社会福祉協議会はボランティアのサービスもやっており、行政もこの3つをもう少し整理していかないと、オンデマンドバスの利用者も増えないと思います。もう一つ、40人という人数の設定ですが、目的も色々な場所ですし、1台に複数乗るのもまれなので、7時から20時にフルに動いても20人ですので、そういう問題をこの会議で具体的な問題について、皆さんにご意見頂かないと、この先、実証実験を重ねていくことに意味がなくなってしまうと思います。運行方法や、半オンデマンドのような事を見出していないと難しいかと感じています。

会長：感覚的に、常に1人しか乗らないのであれば、普通のタクシーで良いのか、それともワゴンかということで、それは検証していくべきだと思いますが、中井町は他のコンビニクルをやっている所に対して人口も多いので、乗り合わせる方が私は良いと直感では思います。そうすると、乗り合わせるには、車両はこれで良いと思いますが、コンビニクルのシステムをこんなシステム出来ませんか。と順風路さんに、例えば1日のこの時刻はマックスバリュージュに行けます。や朝10時は秦野駅に行きます。という事をして、ある程度お客さんを集めていく、今のコンビニクルのシステムでは、たぶんそれは出来ないのですが、ワゴンを入れた意味もありますし、そういった意味でバスでは出来ないサービスが出来ます。という風になるかもしれません。事務局からあった、「色々な方に利用して頂く」と言うのは、私も素晴らしいと思います。一方で、この種の乗り物は走れば走るほど赤字になるのは仕方がないことですので、今後はより困っている人、より不便な人に使って頂くのが理想だと思います。最初の実験の間は色々な人にPRして、どんな使い方があるのか見て頂くのは良いとして、5年後を考えると、こういう人たちのためのサービスですよ。というのを打ち出していかなければいけないと思います。誰でも使えるというのは、もちろんですが、より使ってほしいのは、こうです。というのが運行する側にあっても良いと思

ました。

委員：オンデマンドバスのコンセプトを明確にして、どこに利用者のターゲットを絞るのかも重要かと思います。先ほどの福祉関係の問題とも上手くやるべきだと思います。

委員：今後も継続していくうえで、きちんと議論していきたいと思います。朝晩の通勤・通学の方については、秦野線、二宮線に載っていただいているので、バスの使命としては、幹線は路線バスとしてやっていきたいのですが、日中について、中井町に限っては、路線バスの利用が、5～6人ですので、今後どうなるかはわかりませんが、本当に秦野駅、二宮駅に入れるのであれば、オンデマンドバスで補えるような利用状況ですので、路線バスを補完出来るような検討を進め、路線バスを日中はお休みさせて頂くような形もあるかもしれません。ただ、秦野市や二宮町の方もいるので、その方達も利用出来る様になればという事で、ワゴンでは乗り切れないとなれば、検討も必要ですので、その辺もこれから議論出来たら良いと思います。

委員：5年でオンデマンドバスを止めるという事ではないですよ。

事務局：前は、40年であり、それでは長すぎるということで、もう少し明確な目標を持ってしっかりと動くことも必要と思い、5年にしました。

会長：より短いスパンで目標をきちんと設定してやっていきたいという趣旨で書いたということですね。

事務局：そうです。

会長：連携計画として国に提出する物として承認頂けますか。

－ 承認 －

(2) 中井町生活交通ネットワーク計画（案）の策定について（資料2）

会長：こちらは25年度という事で、これからという事ですが、今までの取り組みも踏まえてやっていくという事ですが、1・2について見て頂くという事で良いですか。

事務局：こちら連携計画の内容と同じですので、連携計画の内容に基づいて申請させて頂きたいというものです。

会長：6. 車両の取得については、今年度車両をリースしてやっていますが、これを引き続きやっていくということで良いですか。3台目、4台目が入るということではないということですね。

事務局：そうです。

会長：こちら承認頂けますか。

－ 承認 －

事務局：4月1日より運行を再開いたします。利用促進に向け広報のほう、ご協力頂ければと思います。次年度は3回ほど会議の開催を予定しております。詳細につきましては、後程、ご連絡差し上げますので、よろしく願いいたします。以上を持ちまして、本日の会議を終了します。ご協力ありがとうございました。

○出席委員：中井町自治会連合会長 小林 敏男
境地区バス利用対策委員長 桜井 岑生
一般公募委員 廣澤 瀧男
一般公募委員 原 礼子
東洋大学国際地域学部教授 岡村 敏之
関東運輸局神奈川運輸支局首席運輸企画専門官 (代理) 小堤 健司
神奈川県県土整備局環境共生都市部交通企画課主査 (代理) 今井 将人
神奈川県県西土木事務所長工務部長 (代理) 寶珠山 正和
神奈川県松田警察署交通課長 (代理) 藤田 俊一
神奈川中央交通(株)運輸計画部長 三木 健明
神奈川県タクシー協会小田原支部 鈴木 要
神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 川上 一男
中井町副町長 早野 茂
中井町地域支援課長 曾我 裕之
中井町福祉課長 金子 豊
中井町まち整備課長 加藤 幸一郎
中井町教育課長 山本 清和
中井町社会福祉協議会長 植木 年男
中井町PTA連絡会長 小宮 邦俊
グリーンテクなかい企業連絡会 (湘南東洋(株)) (代理) 太田 和幸

事務局：中井町3名

その他：傍聴人3名